記者会見資料

2021年「被爆76周年原水爆禁止世界大会」

2021.６.28.

原水爆禁止日本国民会議

１．大会開催について

　被爆から75年、2020年「被爆75周年原水爆禁止世界大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大にともない、大会史上初めての完全オンライン開催となりました。

　　人類史上初の核爆弾投下から76年、2021年１月22日、核兵器を「国際人道・人権法」に反する「非人道兵器」であるとして核兵器の取り扱いを禁止する、核兵器禁止条約が発効しました。被爆者や核実験被害者、原水禁運動、世界の反核運動が、長年に渡り追い求めてきた核兵器廃絶への歴史的一歩を踏み出し、核兵器廃絶という希望へ大きく前進しました。しかし、米ロ対立、米中対立、アジアへの中距離ミサイル配備の問題、イギリスの核弾頭増強政策など、核兵器をめぐる世界の状況は油断なりません。

また、2020年４月に開催予定だった核拡散防止条約（NPT）再検討会議は、世界的な感染症拡大により複数回延期を繰り返し、2022年開催が検討されています。NPT第６条には、核軍縮と全面完全軍縮への努力義務が定められており、核兵器廃絶を進めるために一定の効果があります。

そして、2021年３月11日、東日本大震災・福島第一原発事故から10年が経過し、原発事故の「風化」が懸念されつつも、事故の収束は未だに見えないままです。一方、トリチウムを含む処理水は増え続け、４月13日、政府は関係閣僚会議を開き「海洋放出」の方針を決定し、２年後の2023年を目途に福島第一原発敷地内から放出に着手するとしました。

　　2021年「被爆76周年原水爆禁止世界大会」は、原水禁運動の課題が山積する中で開催します。「人が集う」ことで感じられる空気感を大切にするとともに、各地からも参加できるようなオンライン併用での開催準備を進めていきます。

未だに、新型コロナウイルス感染症は収束の気配が見えず、参加規模を2019年「被爆74周年大会」よりも大幅に縮小します。参加者の「安心・安全」を第一に考え、これまでの開催方法・内容に捉われることなく、ゼロからの発想で組み立て、大会を開催致します。

　　なお、感染症拡大等の状況により、2020年「被爆75周年大会」のように事務局中心で進めることや「完全オンライン」の大会開催になり得ることも、ご理解をお願いします。

２．全体概要について

（１）コンセプト

①原水禁運動の原点である「被爆の実相」を意識し、②「核兵器禁止条約」と「2021NPT再検討会議」に焦点をあて、③「3.11東日本大震災・福島原発事故から10年」を回顧し今後に活かすこと、を中心とする。

（２）大会運営の基本ルール

これまでと同様に、「反核・非核で一致する」すべての人々に開かれたものとし、さまざまな立場の人たちが協同できる広場とする。しかし、「コロナ禍」であることを考慮し、現地参加者数には一定の制限をかける。

（３）全体日程・会場等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日にち | 大会 | 午前 | 午後 |
| ７/31（土） | 福島 | ― | 13：00～14：00　開会行事【パルセいいざか】14：15～16：45　２分科会【コンベンションホール】【２階ホワイエ】 |
| ８/５（木） | 広島 | ９：20集合【平和記念公園】９：30～10：20　平和行進・移動10：45～12：00　開会行事【県民文化C】：メイン会場【YMCA国際文化ホール】：サブ会場 | 14：00～16：30　４分科会【YMCA国際文化ホール】【RCC文化C】【チューリッヒ東方４階】【ワークピア・芙蓉】 |
| ８/６（金） | 広島 | ９：30～10：15　閉会行事【県民文化C】10：30～12：30　国際シンポⅠ【県民文化C】 | 16：00～18：00　国際シンポⅡ【自治労会館３階】※　YouTube配信のみ |
| ８/８（日） | 長崎 | 10：30～11：45　開会行事【ブリックホール国際会議場】：メイン会場【勤労福祉会館２階講堂】：サブ会場 | 14：00～16：30　４分科会【ブリックホール国際会議場】【勤労福祉会館２階講堂】【NBCビデオホール】【NBCメディアツー】 |
| ８/９（月） | 長崎 | ９：00～９：45　閉会行事【県立総合体育館】10：00～10：45　行進・移動11：02　黙祷　【爆心地公園】 | ― |

（４）各大会の現地参加者数は以下を原則とする。

|  |
| --- |
| 2021年「被爆76周年大会」現地参加者数一覧 |
| 福島大会：350名県外：200名　　県内：150名 | 都道府県組織（北海道・東北・関東・東海・北信越ブロック）４名以内都道府県組織（近畿・中国・四国・九州ブロック）２名以内中央団体２名以内 |
| 広島大会：500名県外：300名　　県内：200名 | 都道府県組織５名以内・中央団体２名以内 |
| 長崎大会：400名県外：250名　　県内：150名 | 都道府県組織４名以内・中央団体２名以内 |

（５）開会行事・閉会行事について

広島大会・長崎大会の進行は以下の通り

|  |  |
| --- | --- |
| 開　会　行　事　　　【73分】 | 閉　会　行　事　　　【44分】 |
| 開会あいさつ | 司会 | ２分 | 開会あいさつ | 司会 | ２分 |
| 黙祷 |  | １分 | 黙祷 |  | １分 |
| 主催者あいさつ | 実行委員長 | 10分 | 主催者あいさつ | 実行委員長 | ５分 |
| 被爆者の訴え | 被爆者 | 40分 | まとめ | 運営委員事務局長 | 16分10分 |
| 大会基調提起 | 事務局長 | 15分 | アピール採択 | 現地 | ５分 |
| 閉会あいさつ | 現地議長 | ５分 | 閉会あいさつ | 現地議長 | ５分 |

福島大会の開催は以下の通り（閉会行事を行わず、分科会終了後解散）

|  |
| --- |
| 開　会　行　事　　　【58分】 |
| 開会あいさつ | 司会 | ２分 |
| 黙祷 |  | １分 |
| 主催者あいさつ | 実行委員長 | 10分 |
| 被害者の訴え | 被害者 | 25分 |
| 大会基調提起 | 事務局長 | 10分 |
| アピール採択 | 現地 | ５分 |
| 閉会あいさつ | 現地議長 | ５分 |

３．シンポジウム・分科会

（１）国際シンポジウム

|  |
| --- |
| Ⅰ：核兵器課題「（仮題）核なき世界～被爆の日に願う～」８月６日　10：30～12：30　県民文化センターコーディネーター：藤本泰成（原水禁共同議長）パネリスト：秋葉忠利（原水禁顧問）パネリスト：ケビン・マーチン（アメリカ・ピースアクション）パネリスト：グレゴリー・カラキー（アメリカ・憂慮する科学者同盟） |

|  |
| --- |
| Ⅱ：脱原発・エネルギー政策課題「（仮題）原発事故から10年～エネルギー政策転換～」８月６日　16：00～18：00コーディネーター：藤本泰成（原水禁共同議長）パネリスト：松原弘直（環境エネルギー政策研究所（ISEP）理事）　パネリスト：Stefan Wentzel（ドイツ・緑の党）パネリスト：調整中（韓国・緑の党）基調提起：武藤類子　15分 |

（２）分科会

福島大会　７/31　13：30～14：00　打合せ／14：15～16：45　分科会

|  |
| --- |
| 第１分科会　【廃炉と被曝労働】講師：仙波千鶴　40分　講師：狩野光昭（社民党福島県連合代表）　40分報告：小野葵（第23代平和大使）、橋本花帆（第24代平和大使）　20分質疑応答　20分 |

福島原発事故から10年を経過してもなお、先が見えない廃炉問題に焦点を当てる。被曝労働問題に取り組んでいる仙波さんに講師をお願いする。廃炉作業に従事する労働者の相談を受けている狩野さんから報告をもらう。

|  |
| --- |
| 第２分科会【福島第一原発事故による健康被害】講師：相沢一正　40分　講師：崎山昇 （被爆二世協）　40分報告：吉井佳音（第23代平和大使）、佐藤麻友華（第24代平和大使）　20分質疑応答　20分 |

福島原発事故による健康被害に焦点を当てると同時に、原水禁課題として存在する被爆二世の健康問題とリンクさせて考える。

広島大会　８/５　13：30～14：00　打合せ／14：00～16：30　分科会

|  |
| --- |
| 第１分科会【核保有国と核保有を望む国、日本との関係】講師：湯浅一郎（ピースデポ）　40分講師：高原孝生（明治学院大学）40分報告：畠山澄子（ピースボート）20分質疑応答　20分 |

湯浅さんからは、核兵器廃絶に関する基本的な知識をさらってもらい、東北アジア非核地帯化構想などに言及してもらう。

高原さんには、若者の意識の変化を踏まえ、日本が非核化に向けて何ができるかを提案してもらう。

畠山さんには、研究分野「核兵器のAI化」についてなど。

|  |
| --- |
| 第２分科会【気候変動と脱原発、自然エネルギーの今とこれから】講師：末田一秀（はんげんぱつ新聞編集委員）　40分講師：桃井貴子（気候ネットワーク） 40分　報告：奥野　華子（Fridays for Future 広島）　20分質疑応答　20分 |

末田さんには、脱原発の基本的な運動の流れから現在の問題点を中心に話してもらう。

桃井さんには、脱原発、脱石炭の視点で話してもらう。

報告者は、Fridays for Future 広島の奥野さん。広島大学が2030年カーボンニュートラルを宣言したこともあり、若者の活動のやり方や問題意識などについて報告してもらう。

|  |
| --- |
| 第３分科会【在外被爆者と日本の戦争責任、その歴史認識問題について】講師案：在間秀和（弁護士）　50分報告者：相原由奈（第15代高校生平和大使）　30分報告者：井上つぐみ （第18代高校生平和大使）　20分質疑応答　20分 |

在間さんには、戦争・被爆の問題を網羅的に話してもらい、在外被爆者の問題が存在するというところまでの流れを話してもらう。

そのうえで、相原さんに、ブラジルの在外被爆者についての研究発表をしてもらう。自身が体験した被爆者の話を聞く際の困難さや意識の変化などにも言及してもらう。

井上さんには、語り部活動の研修状況について話してもらう。

|  |
| --- |
| 第４分科会【見て、聞いて、学ぼうヒロシマ】講師：金子哲夫（原水禁共同議長）　90分質疑応答　30分 |

長崎大会　８/８　13：30～14：00　打合せ／14：00～16：30　分科会

|  |
| --- |
| 第１分科会【核兵器禁止条約発効の効果と今後の課題】講師：川崎哲(ピースボート)　50分報告：川野浩一（原水禁共同議長）　30分報告：中村涼香（ノルウェー派遣平和大使・議員ウォッチ）　20分質疑応答　20分 |

川崎さんには、核兵器禁止条約発効に至るまでの基本的な流れをさらってもらった後、NPT、締約国会議などの事象について、今後考えられる世界の動きを話してもらう。

川野共同議長からは、ヒバクシャとして核兵器廃絶運動に取り組む思いを話してもらう。

中村さんには、「議員ウォッチ」など、若者が核兵器廃絶へ向けてどのような活動をして、どのような効果・結果を得ているかを話してもらう。

|  |
| --- |
| 第２分科会【核燃料サイクル政策の破綻、なぜ日本は決断しないのか】講師：沢井正子（元原子力資料情報室）50分現地報告：原水禁鹿児島15分現地報告：原水禁佐賀15分報告：岩瀬愛佳（Fridays For Future長崎、長崎県立諫早高校二年）　15分質疑応答　25分 |

沢井さんには、核燃料サイクルの歴史、問題点を中心に話してもらう。

現地報告として、鹿児島・川内原発、佐賀・玄海原発の報告をもらう。

その他の報告者は、気候危機を意識した若者の活動を報告してもらう。原発事故の印象や原発に対する意識など、若者の考えを聞く。

|  |
| --- |
| 第３分科会【被爆二世とは何か、その課題と自身の役割、次世代へ繋ぐ】講師：青木栄（熊本県高教組）40分　講師：平野伸人（高校生平和大使派遣委員）40分報告：高校生平和大使・高校生1万人署名活動メンバーから　20分　調整中質疑応答　20分 |

青木さんには被爆二世としての活動やその意識を話してもらう。次世代へ継承する運動展開をどう考えるかなど、教員として、二世として、平和大使派遣委員会としての側面から話してもらう。

平野さんには、青木さんとすみ分け、被爆二世としてのとりくみや運動論を話してもらう。

報告者は、被爆３世、被爆４世の高校生に話をしてもらう。

|  |
| --- |
| 第４分科会【見て、聞いて、学ぼうナガサキ】講師：山川剛（長崎県原爆被爆教職員の会副会長）　50分講師：西岡由香（漫画家）　50分質疑応答　20分 |

　　　　山川さんには、被爆体験について話をしてもらう。

西岡さんには、「原爆に関する紙芝居」と被爆体験の継承に関して話していただく。

４．その他

|  |  |
| --- | --- |
| （１）YouTube「原水禁チャンネル」の活用についてhttps://www.youtube.com/channel/UCE9kPbD9CrNxSe9eF54nz3Q/ | QR_622924.png |
| （２）「原水禁ホームページ」の活用についてhttp://gensuikin.peace-forum.com/ | QR_622988.png |
| （３）ＤＶＤ「君たちはゲンバクを見たか」のリニューアル事業 2021年「被爆76周年原水爆禁止世界大会」までの完成をめざし現在作成中です。 |

以　上